

56-2. ゴナドトロピン分泌異常症

A. ゴナドトロピン分泌過剰症

1. 主要項目

(1) 主症候

- ① 女性：月経異常
- ② 男性：女性化乳房

(2) 検査所見

- ① 腫瘍によって産生されるゴナドトロピン（LH、FSH、hCG）またはLHRHによって生じるゴナドトロピン分泌が健常者の年齢・性別基準値に比して高値を示す。
- ② 画像診断（MRIまたはCT）で視床下部や下垂体に腫瘍性病変を認める。
なお、必要に応じて、以下の検査を行った場合
- ③ 摘出した下垂体腫瘍組織の免疫組織化学的検索によりゴナドトロピン分泌を認める。

2. 診断基準

確実例：1（1）のいずれかを満たし、かつ1（2）①から③すべての項目を満たすもの。

B. ゴナドトロピン分泌低下症

ゴナドトロピン分泌低下症については、下垂体前葉機能低下症の認定基準を用いることとする。